

駐 車 場 会 計

1 概要

本会計は、駐車場整備事業のうち駐車場整備事業債により措置される部分についての収支状況を明確にすることを目的として設置されたものである。その対象は、円山公園駐車場（令和4年3月31日現在、収容台数959台）であり、利用状況の推移は次表のとおりである。

駐車場利用状況の推移

(単位 台・千円)

区 分		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
円山公園	台 数	173,875	206,797	207,926	121,951	95,046
	使 用 料	122,290	145,369	146,175	85,629	66,794

2 決算状況

本会計の決算状況は、歳入総額・歳出総額ともに2億9,748万円である。

決算状況を前年度と比較すると、歳入では4,281万円減少、歳出では1億7,054万円増加となっている。これは主として、歳入では新型コロナウイルス感染症の影響による円山動物園の入園者数減に伴う駐車場利用台数の減により、使用料が減少したことによるものであり、歳出では、市債償還のための減債基金への積立金が増加したこと等によるものである。

歳入の主なものは、繰越金2億1,335万円（対前年度比2,395万円・10.1%の減）、駐車場使用料6,679万円（同1,883万円・22.0%の減）であり、歳出の主なものは、減債基金への積立金2億84万円（同1億4,756万円・277.0%の増）と委託料5,617万円（同1,597万円・39.8%の増）である。

予算執行状況は、歳入では執行率74.6%（前年度197.8%）、収入率100.0%（同100.0%）、歳出では執行率74.6%（同73.8%）である。

歳入及び歳出の決算状況は、次ページの表のとおりである。

歳入

(単位 千円)

科 目	予算現額	調定額	収入済額 A	執行率	収入率	前年度 決算額 B	増減額 A - B
駐車場事業収入				%	%		
使用料	144,353	66,794	66,794	46.3	100.0	85,629	△ 18,835
繰入金	17,337	17,336	17,336	100.0	100.0	17,357	△ 20
繰越金	237,310	213,353	213,353	89.9	100.0	237,309	△ 23,955
諸収入	0	1	1	—	100.0	0	1
合 計	399,000	297,486	297,486	74.6	100.0	340,296	△ 42,810

歳出

(単位 千円)

科 目	予算現額	支出済額 A	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額 B	増減額 A - B
駐車場事業費					%		
委託料	73,463	56,174	0	17,288	76.5	40,194	15,979
積立金	200,843	200,842	0	0	100.0	53,279	147,563
繰出金	97,182	27,429	0	69,752	28.2	17,357	10,071
その他	27,512	13,040	0	14,471	47.4	16,111	△ 3,070
合 計	399,000	297,486	0	101,513	74.6	126,942	170,543

(資料 110～113ページ参照)